

美しいピアノの音色と迫力のオーケストラ。ベートーヴェンの名曲で迎える新年の夕べ。

YMFG もみじ ニューイヤー コンサート

MOMIJI New Year Concert 2017

指揮 阪 哲朗 × ピアノ 小山 実稚恵 × 広島交響楽団



ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第5番
変ホ長調 Op.73

皇帝



第7番 交響曲
1長調 Op.92

ベートーヴェン

2017.1.7 [土] 15:00開演
[14:00開場]

広島文化学園HBGホール
(広島市文化交流会館)

■料金(全席指定)

S席=〈前売り〉¥3,500 / 〈当日〉¥4,000

A席=〈前売り〉¥3,000 / 〈当日〉¥3,500

B席=〈前売り〉¥2,500 / 〈当日〉¥3,000

学生券(B席) ¥1,000 (〈当日販売のみ、要学生証〉)

■チケット販売所

- ◎エディオン広島本店プレイガイド [TEL:082-247-5111]
- ◎福屋八丁堀本店プレイガイド [TEL:082-246-6911]
- ◎福屋広島駅前店チケットサロン [TEL:082-568-3942]
- ◎中国新聞社読者広報部 [TEL:082-236-2455]
- ◎中国新聞販売所(取り寄せ)
- ◎ローソンチケット(Lコード 61859) ◎電子チケットぴあ(Pコード 311-850)

主催=もみじ銀行・中国新聞社

お問い合わせ=もみじ銀行経営管理部 広報 TEL:082-241-3043

YMFG もみじ ニューイヤーコンサート

YMFG New Year Concert 2017



指揮 阪 哲朗
Tetsuro Ban, conductor

阪 哲朗は欧米での客演が数多く、これまで主にドイツ、オーストリア、スイス、フランス、イタリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれ成功を収めている。日本ではNHK交響楽団をはじめ各地の主要オーケストラ、新国立劇場、二期会

などのオペラ団体を指揮している。

とりわけ、2008/09年年末年始に、ウィーン・フォルクスオーパーで、同劇場の年間のハイライトとも言うべき公演である「こうもり」を指揮し、大変な話題となった。地元ウェブ・サイト「オペラ・ウィーン」では「成功した大晦日」と題して、「阪哲朗によるオーケストラは、躍動感あふれる熱のこもった演奏をした。それどころか弦楽器には官能的に悦びにふける何かさえあった」と絶賛された。

これまでに、ウィーン・フォルクスオーパーをはじめ、シュトゥットガルト歌劇場、スイス・バーゼル歌劇場、新国立劇場などで、「ファルスタッフ」、「カルメン」、「ペレアスとメリザンド」、「ホフマン物語」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」、「道化師」、「天国と地獄」など多くの作品を指揮。ドイツ国内はもとよりヨーロッパ各地でのコンサート及びオペラで活躍の場がさらに広がっている。

京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてK.エステルライヒャー、L.ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。

これまでに、ビール市立歌劇場(スイス・ベルン州)専属指揮者、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場(ドイツ・テューリンゲン州)音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者を歴任。ベルリン・コーミッシェ・オーパーでは、H.クプファー新演出による「天国と地獄」、A.ホモキ演出による「ファルスタッフ」、M.シューラー新演出による「リゴレット」などを手がけ、約20演目170回余を指揮し好評を得た。現在、レーゲンスブルク歌劇場(ドイツ・バイエルン州)の音楽総監督(GMD)を務める。

1995年「第44回ブザンソン国際指揮者コンクール」優勝。

1996年京都府文化奨励賞、1997年度ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞、2000年第2回ホテルオークラ音楽賞、2004年度第12回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年度第26回藤堂顕一郎音楽賞受賞。



ピアノ 小山 実稚恵
Michie Koyama, pianist

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、コンチェルト、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。

Bunkamuraオーチャードホールにて行われている春・秋年2回、2006年～2017年の壮大なプロジェクト「12年間・24回リサイタル・シリーズ」は、現在全国6都市(東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、福岡)において進行中。

2015年にはデビュー 30周年を迎えた。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ放送響(現・チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、イギリス室内管、アカデミー室内管、ロッテルダム・フィル、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ワルシャワ・フィル、モントリオール響、ボルティモア響などと共演しており、フェドセーエフ、テミルカーノフ、デュワ、マリナー、小澤征爾といった国際的指揮者との共演も数多い。

また、ショパン生誕200年にあたる2010年のショパン国際ピアノコンクールを始め、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなどのコンクールでは審査員を務める。

2011年の東日本大震災以降、被災地の学校や公共施設等で演奏を行っており、2015年夏より被災地活動の一環として自ら企画立案し、ゼネラル・プロデューサーを務めるプロジェクト「こどもの夢ひろば "ボレロ"」が、仙台においてスタートした。

CDは、ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結ぶ。最新CDは、28枚目の「シューベルト：即興曲集」で、前作「ヴォカリーズ」、「ジャコヌ」に続き、3作連続で「レコード芸術」の特選盤に選ばれる。

これまで、2005年度 文化庁芸術祭音楽部門大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞ならびにレコード・アカデミー賞(器楽部門「ジャコヌ」)、2015年度 文化庁芸術祭音楽部門優秀賞ならびに第28回ミュージック・ベンクラブ音楽賞を受賞している。

東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。その後「広島交響楽団」と改称し、1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする中国地方唯一の常設プロオーケストラとして活躍の場を拓いている。日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、フランス(ルーアン、ル・アーブル)、ロシア(サンクトペテルブルク)、韓国(ソウル、プサン、テグ)などで海外公演も行うなど、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。2015年8月、被爆70年として広島と東京・

サントリーホールで行われた「平和の夕べ」コンサートで世界的ピアニスト、マルタ・アルゲリッチと協演し大成功をおさめた。またサントリーホール公演では天皇后陛下のご臨席を賜り、天覧公演となった。これを機にアルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。

現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期や「秋山和慶のディスカバー・シリーズ」、広島市との共催による「音楽の花束」名曲シリーズをはじめ、県内における移動音楽教室、巡回コンサートから各種依頼公演など年間約140回に及ぶ公演を行っている。

2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、「P3 HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

これまでに「広島市功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。 公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

会場：広島文化学園HBGホール(広島市文化交流会館)

〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL:082-243-8881

アクセス

バス：JR広島駅 南口Aホーム3番のりば 広島バス 24番 吉島線で25分 「加古町」下車すぐ

路面電車：広島電鉄江波線「舟入町」電停より徒歩5分/広島電鉄宇品線「市役所前」電停より徒歩12分

主催=もみじ銀行・中国新聞社 お問い合わせ=もみじ銀行経営管理部 広報 TEL:082-241-3043

